

## 大分市立大分西中学校 学力向上プラン1（8月）

学力状況について		学習状況について
児童生徒の状況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の漢字を読む、書くのがやや弱い（2年）</li> <li>数学の文字式が弱い（2年）</li> <li>理科の「身の回りの物質」の正答率が低い（2年）</li> <li>理科の実験・観察の技能が劣っている。（2年）</li> <li>英語の長文や英作文がやや弱い（2年）</li> <li>全教科目目標値を下回っている生徒が12名（2年）</li> <li>全国調査では各教科各領域とも全国の正答率を上回っている。（3年）</li> <li>国語B（主として活用）の「必要な情報を読み取り自分の考えを書く」の正答率がやや低い（3年）</li> <li>数学B（主として活用）の正答率がやや低い。（3年）</li> <li>基礎学力の高い生徒が多い。（1年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く習慣がない生徒がやや多い（2年）</li> <li>生活学習習慣で特に改善が必要な生徒が7名（2年）</li> <li>学年プラス1時間の家庭学習を毎日行っている生徒は約60%となっている。（各学年）</li> <li>班学習に習熟しておらず、積極的に参加・協力ができない。（1年）</li> <li>授業の中で、積極的に発表や発言をする生徒は約50%（各学年）</li> <li>難易度の高い問題に粘り強く頑張る生徒が80%（各学年）</li> <li>授業に集中している割合は90%以上（3年）</li> </ul>
指導の状況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職による授業観察、助言をおこなった。</li> <li>UDの視点を取り入れた全員に分かりやすい授業を研究している。</li> <li>アクティブラーニングの授業を取り入れることにより、生徒自らが主体的に課題と向き合う学習を促進する必要がある。</li> <li>全国（県）テストで判明した弱点部分を授業や学習課題を通してどう克服させるかが課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業1分前着席や挙手をして発表など、90%以上の生徒が守ることができている。</li> <li>毎日ノートなど、家庭学習が習慣化するように点検をおこなった。（90%以上は提出する）</li> <li>毎日ノートの学習内容を個別的に指導する必要がある。</li> <li>復習やテスト前の準備の仕方を個別に教示する必要がある。</li> </ul>
今後目指す児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業が楽しく分かりやすいと感じる生徒 90%以上</li> <li>積極的に発表や発言をした生徒 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の課題に対して、自分の考えを持ち積極的に解決に取り組み、発言する生徒。</li> <li>自分の考えを伝えるとともに、友だちの考えを理解しようと努め、集団で学力向上を目指す生徒</li> </ul>
今後の具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業改善の取り組み（目標改善に向けた全員での取り組み）             <ol style="list-style-type: none"> <li>授業研究の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間完結型の「めあて」と「振り返り」のある授業</li> <li>板書の構造化（マグネットを使用し工夫、色を分けた板書）とノート整理の指導</li> <li>習熟の程度に応じたきめ細かな指導（習熟度別指導、期間巡視、個に応じた課題）</li> <li>体験的で課題解決的な展開の授業</li> </ul> </li> <li>互見授業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科での授業研究、管理職からの助言（毎月1週間を互見授業）</li> <li>ユニバーサルデザイン授業の研究の深化</li> <li>授業ルール、発表ルール、グループ学習の進め方の確認と徹底</li> <li>「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」など思考の流れに応じたマグネットの使用</li> <li>「授業のながれ」カードによる授業内容の事前確認</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>その他の学習指導の取り組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲を高めるICTを使用した授業の工夫</li> <li>効果的かつ計画的な家庭学習課題の提供</li> <li>夏休み補充学習の実施（各学年6日間設定）</li> <li>2学期テスト前学習会（1週間）、質問教室の実施</li> </ul> </li> <li>個別指導の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>二者面談の実施により、学習上の悩みやつまずきの把握と助言</li> <li>学習方法の提示</li> <li>三者面談による到達目標の設定と学習教材の選定</li> </ul> </li> </ol>	
家庭・地域との協働	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎日ノートの内容を家庭で点検する。また声かけを頻繁にする。</li> <li>テスト前にはTV、携帯、パソコンの時間制限する。</li> <li>卒業後の進路を家庭でゆっくりと話し合うようPTA学級懇談会で確認している。</li> </ol>	